

## シースタイル調査

# 居住中の売却検討6割

不動産関連の比較サイト「スマイスター」を運営するシースタイル（東京都中央区、川合大無社長）は1月9日、住宅の

売却を検討している人を対象に実施したところ、「現在居住している住宅の売却を検討中」が59・8%と6割ほどを占めた。

売却を検討し始めた時期を聞いたところ、「1年以内」（25・2%）が4人に1人と最も多く、「1カ月以内」（24・3%）、「3カ月以内」と

「半年以内」がともに14・0%と続いた。「10年超」との回答も4・7%あった。

住宅の種類は戸建てが73・8%、マンションが26・2%となり、本人・家族居住が59・8%だった。賃貸中は9・4%、セカンドハウスが3・7%、親戚居住が2・8%、空き家（空室）が24・3%との状況だった。

売却を検討している人を対象に「住宅売却の検討状況」について調査した。同サイトを利用した全国20歳以上の男女107

人を対象に実施したところ、「現在居住している住宅の売却を検討中」が59・8%と6割ほどを占めた。

売却を検討し始めた時期を聞いたところ、「1年以内」（25・2%）が4人に1人と最も多く、「1カ月以内」（24・3%）、「3カ月以内」と

「半年以内」がともに14・0%と続いた。「10年超」との回答も4・7%あった。

住宅の種類は戸建てが73・8%、マンションが26・2%となり、本人・家族居住が59・8%だった。賃貸中は9・4%、セカンドハウスが3・7%、親戚居住が2・8%、空き家（空室）が24・3%との状況だった。

売却以外の選択肢を尋ねると、「そのまま貸し出す」（39・3%）、「リノベーションして貸し出す」（15・0%）、「店舗用に貸し出す」（5・6%）、「民泊として使う」と「シェアハウスにする」がともに3・7%と賃借向けが7割弱を占めた。「売却以外検討していない」（28・0%）も3割程度いた。「自治体に寄付する」